

## クロイツフェルト・ヤコブ病発生届

都道府県知事（保健所設置市長・特別区長） 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項（同条第6項において準用する場合を含む。）の規定により、以下のとおり届け出る。

報告年月日（平成 年 月 日）

医師の氏名 \_\_\_\_\_ 印

（署名または記名押印のこと）

所属する病院・診療所等施設名 \_\_\_\_\_

上記施設の住所・電話番号\* \_\_\_\_\_

（電話 \_\_\_\_\_）

（\*所属する施設がない場合は医師の自宅の住所・電話番号を記載すること）

<b>1 診断（検案）した者（死体）の類型</b>				
・患者（確定例）		・感染症死亡者の死体		
2 性別	男・女	ア. 進行性認知症（ 年 月より） イ. ミオクローヌス（ 年 月より） ウ. 錐体路症状（ 年 月より） エ. 錐体外路症状（ 年 月より） オ. 小脳症状（ 年 月より） カ. 視覚異常（ 年 月より） キ. 無動性無言状態（ 年 月より） ク. 記憶障害（ 年 月より） ケ. 精神・知能障害（ 年 月より） コ. 臨床的に頑固な不眠（ 年 月より） サ. 異常感覚（ 年 月より） シ. 痙性対麻痺（ 年 月より） ス. 筋強剛（ 年 月より） セ. その他（        ）（ 年 月より）		
3 診断時の年齢	歳			
4 病型 1) 孤発性プリオン病 (a) 古典型クロイツフェルト・ヤコブ病 (CJD) (b) その他 2) 遺伝性プリオン病 (a) ゲルストマン・ストロイスラー・シャインカー病 (GSS) (b) 家族性CJD (c) 家族性致死性不眠症 (FFI) 3) 感染性プリオン病 (a) 医原性CJD (b) 変異型CJD	6 症状			
診断の確実度（7. 確実 4. ほぼ確実 5. 疑い）				
5 診断方法	1) 病原体診断（異常プリオン蛋白の検出） 部位 (1) 脳 (2) 扁桃 (3) その他の臓器 方法 (1) Western Blot法 (2) 免疫染色法 異常プリオン蛋白の沈着型 (1) アミloid 様 (2) シフ* 型 (3) その他 2) プリオン蛋白遺伝子検査 (1) コドン（        ）の異常 (2) コドン129の多型 (7. M/M 4. M/V 5. V/V) (3) コドン219の多型 (7. E/E 4. E/K 5. K/K) (4) その他（        ） 3) 臨床症候 4) 家族歴 5) 検査 (1) 脳波 (PSD) (2) 脳MRI (3) 14-3-3蛋白 (4) その他 6) その他（        ） （該当するものすべてに記載すること）	7 初診年月日 平成 年 月 日 8 診断（検案（※））年月日 平成 年 月 日 9 感染したと推定される年月日 平成 年 月 日 10 発病年月日（*） 平成 年 月 日 11 死亡年月日（※） 平成 年 月 日		
12 感染原因・感染経路・感染地域 （感染性プリオン病の場合のみ記載）		①感染原因・感染経路（推定される感染年月日） 1) ヒト乾燥硬膜（ 年 月 日） 2) ヒト下垂体由来成長ホルモン製剤（ 年 月 日） 3) 角膜手術（ 年 月 日） 4) 手術等観血的処置（ 年 月 日） [種類                                        ] 5) 輸血等（ 年 月 日） 6) その他 [                                        ]（ 年 月 日）  ②感染地域（ 確定 ・ 推定 ） 1 日本国内（        都道府県        市区町村） 2 国外（        国、 詳細地域：                                        ）		

この届出は診断から7日以内に行ってください

（1、2、4から6、12欄は該当する番号等を○で囲み、3、7から11欄は年齢・年月日を記入すること。（※）欄は、死亡者を検案した場合のみ記入すること。（\*）欄は、患者を診断した場合のみ記入すること）